

2020年サクラだより9

2020. 3. 10

皆さまのお近くのソメイヨシノの木も冬芽に変化が出て来ているのではないのでしょうか。昨日、所要で夙川まで出たついでに、川岸を散策、冬芽を観てきました。日当たりの良い枝先の花芽は少し膨らみが感じられ、頭が黄褐色に変わってきており、開花の準備万端のようです。

でも、今年は新型コロナ対策で、毎年開かれていた、近郊の夙川や芦屋の「桜祭り」は早々と中止を発表。大阪名物？造幣局の「通り抜け」も中止が発表されています。少し、寂しい「サクラ・イヤー」となりそうですが、近所の桜見物で我慢しましょう。

今日は朝から雨、徒然なるままにこれまで書かなかった「ソメイヨシノ」に関しての蘊蓄をご披露します。

*韓国の桜

ソメイヨシノは日本では、全国何処にいても見られるほど身近な桜ですが、実はお隣韓国でも公園、校庭、並木はては工場のなど至るところに植えられています。桜は日本の象徴、？と思われますよね。実は、「ソメイヨシノ」の起源説に関係しています。韓国には日本統治中にソメイヨシノが導入されました。韓国ではソメイヨシノの正体は韓国固有種の王桜(エイシュウザクラ)であるとする韓国起源説が主張されています。そのため朝鮮語においても両者を区分せず、どちらも「왕벚나무(ワンボンナム)」と呼称されています。このため現在においても王桜の名所を作るという名目で韓国内でもソメイヨシノの大量植樹が行われているわけです。

2017年には改めて森林総合研究所と岡山理科大学の池谷祐幸氏がサクラの種間雑種について分類体系を整理し、韓国済州島の王桜(エイシュウザクラ)はエドヒガンとオオヤマザクラの種間雑種であり、ソメイヨシノと異なることを明らかにして、新たな王桜の学名(*Cerasus* × *nudiflora* (Koehne) T.Katsuki & Iketani)を確立させて、国際的な周知が行われました。

今後、韓国はどうするのでしょうか。

*図鑑のウソ？、

・多くの方がお使いになっていると思われる山溪の「樹に咲く花・離弁花①」の「ソメイヨシノ」の項には・**樹形；落葉高木。高さ10～15m、直径1.5～2mになる。**と記載されている。現実には我々が見かける樹は、高さは精々5～10m、直径も太くても60cm程度までです。なお、良く利用する「松江の花図鑑」の記載も同様です。

成木になると枝は横に広がり傘状の樹形となる。と記述されています。

なぜ横広がりになるのでしょうか。普通、樹木が横広がりになるのは「**仮軸伸張**」(単純に言えば頂芽より側芽から出たシュートの方が長く伸びる)ですが、ソメイヨシノは違います。「**仮軸伸張**」の特徴である浪打状の枝振りは見られません。

皆さんも成木の枝を観察してみてください。



実際のソメイヨシノの枝は写真のようになっています。直系20cmほどの成木です。他の落葉樹とは随分違った枝ぶりです。この枝には、長枝はなく全てが「**短枝**」(的)な枝なのです。短枝ばかりでは上方には伸びず、横広がり樹形となるのは当たり前です。

既存の全ての図鑑では、この「**短枝**」という概念を入れていません。このため、枝、葉の展開、花の付き方・・・等々、誤りとまでは言えないまでも、若い樹木には当てはまっても、成木には当てはまらない記述となっています。批判はこれまで。

*短枝の概念を入れて、「ソメイヨシノ」のサイクルを記述しますと。

・冬芽

・花芽は短枝の先方、昨年度の葉痕の上に3～7個かたまつてつく。花芽は鱗芽で長卵形、芽鱗には毛がある。

・葉芽は若い木の長枝では、昨年度の葉痕の上につくが、短枝では枝の先端に1個つく。紡錘形でさきが尖る。有毛。

・「休眠打破」：冬芽が展開するには、冬季の低温とその期間が必要である。休眠打破に必要な温度、期間については諸説があり未だ定説はない。12～2月の気温が低いほど打破が早く、暖かいと遅れるという。なお、休眠打破は一斉におこるのではなく早いもの、遅いものがあるが、その原因については不明。

・休眠打破された芽の開花、展葉はその後の積算温度によって決まる。従って、1つの冬芽の開花や展用は、休眠打破の時期と相関する。

＊開花、

葉の展開前に始まる。花は短枝の枝先に固まってしまう。



開花：1本の木で5～6輪平開すれば開花日とす。



満開：蕾の8割程度が開花すれば、満開日とす。

開花から満開までの日数は、6～8日ですが、冬芽の「休眠打破」の状況、および開花期間の気温に左右されます。



「サクラは散り際が良い」など一斉に散るのかのように言われていますが、さにあらず結構おそくまで残っています。開花調査時に確認下さい。

＊展葉、

ソメイヨシノには、長枝と短枝それぞれに葉芽があります。どちらが早く展葉するのか、今後の観察が必要です。なお、短枝の葉は、花が終わってから展葉を始めるのではなく、写真のように満開過ぎからすでに始まります。なお、写真の葉の展用の度合いは、個々の葉1枚1枚が識別可能ですので、0～4評価基準の“2”に相当します。

短枝の葉芽から何枚の葉（正確には何枚の葉をつけたシュート）が展開するでしょうか。決まっています。今年の冬芽の数だけの葉が展開します。確認して見て下さい。

なお、ソメイヨシノの展用の調査は他の樹木に比べると容易です。通常の調査では、同一地域内で同一の種10本～12、3本を選び、各々の木の1枝（冬芽は1個）をマーク、一定期間ごとに各々の木の芽の開度を定められた下の基準で0～4評価し、平均して調査日の記録とします。

展葉クライテリア

0：芽

1：芽が伸び始める

2：個葉1枚1枚が識別可能

3：個葉の面積が成熟時の半分

4：個葉面積最大

ソメイヨシノは全てクローンですので、同一地域では皆同じ動きをします。従って、同一地域内のソメイヨシノ2, 3本に10~12, 3本の枝を決めておき、一定期間ごとに観察し、個々に上記の0~4評価を記載、平均値を調査日ごとに記録して行けば良いのです。開葉の完成は全ての枝の開度が4となった期日です。

・もっとも簡単な手法もあります。公認されるような方法ではありませんが、1, 2本の短枝を決めて置き、葉芽の展開時から3~5日おきに、スマホで写真を撮って記録して行く方法です。画像から展開終了時期の推測は容易、指標があれば全開時から遡って、開葉の経時変化(%)でも算出できるでしょう。開花から5月中旬までのお仕事、チャレンジしてみませんか？

*果実

サクラ類は、自家不和合性であり、以前の図鑑などではソメイヨシノは結実しない、最近の図鑑では希に結実するとなっています。

この様子は、万博公園の桜通りのお太陽の塔の裏側あたりで5月ごろ観察されるとよくわかります。ソメイヨシノの並木の中に1本だけオオシマザクラが混じっています。確かに、オオシマザクラ周辺のソメイヨシノには少ないながら結実が見られます。1cmほどの果実が黒紫色に熟します。

*冬芽の形成

山田修先生の「ふしぎの植物学」という文庫本に「サクラのつぼみの形成期は7月末」と記載されています。普通7, 8頃にサクラの枝を見ることがないので、今年は6月末ぐらいから、葉腋を注意して見て行きたいですね。いつも。9月始めごろの観察会などでは「もう冬芽が用意されている」などと案内していますが、この時期本当に「休眠芽」になっているのでしょうか。初秋に虫の食害や台風の塩害があると、晩秋に異常開花がおこるとは昨年の公開講演会での山田修先生のお話し。実験的に確認する手段はありや？です。

*桜もみじ・落葉

・桜は春先に花で彩りを添えてくれますが、秋にはカエデ類に先がけ色付いて彩りを楽しませてくれます。ただ、桜の色付きは初秋から樹全体は緑色であるの内にはじまり、色付いた葉は次々に落

葉し、おまけに落葉した葉は裏向きとなるので気付かないことが多いようです。葉そのものの紅葉はカエデ類の単色の紅葉よりも赤や橙色、あるいは黄色など、またこれ等の色がグラデーション化して様々に紅葉して落葉します。このころの落ち葉は押し葉として、シオリなどに加工するには最適です。4, 5年前まではサクラはカエデ類のように、樹全体の彩るようなことはなく、落葉が徐々に進み、11月初旬には冬の装いとなっていました。ところが、最近では温暖化で秋季の気温が上がったせいか、色づき始めも10月初旬、11月に入っても多くの葉をのこし、一斉に紅葉する現象が出て来ています。最近の図鑑などでは、サクラは秋の紅葉も美しいなどと記述されるほどです。

・なお、サクラの葉の色付きも枝先から順次に進むことが多く、揚水や日照が関係するのかも知れません。



今年の紅葉はどのように進行するのでしょうか？

***ソメイヨシノは極めて身近な桜です。異常気象となった今年、どんな姿を見せるのでしょうか？折角始めた観察です。秋まで見守っては如何でしょう。**

***昨日、雨の上がったところを見計らい、日課の附近のパトロールに出かけました。既報のセイウミザクラははや満開。なんと、コバノミツバツツジも早や開花していました。サクラの開花もすぐですね。次ページにわが家の周囲のサクラビューポイント？の写真を掲載しました。皆さまなら見に行きたいと思うポイントはどこでしょう。①~⑤の順位付けをして見て下さい。**

ご回答は自由です。ご協力よろしく。



① 附近のサクラ並木



④ 河岸のさくらー2



② 附近の公園



⑤ 植物園



③ 河岸の桜ー1



番外？ 森林公園